

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名		筑北環境衛生組合参画事業(し尿処理場)				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050702000216
						単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系		政策体系上の位置付け						生活環境課	
総合計画の施策名		0507 廃棄物の抑制と適切な処理						課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	
施策名		07 廃棄物の抑制と適切な処理						担当者名	
手段名		02 ②分別収集と適正な処理						環境公害対策G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	04	02	01	01	00	単年度繰返し (昭和40年度~)	
法令根拠						清掃総務事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>市民生活圏の拡大、市民ニーズの高度化・多様化に対応するため、広域的な自治体連携により実施をする。</p> <p>昭和40年筑北環境衛生組合設立により、構成している市(空間市・桜川市)等でし尿処理施設を運営している共同事業である。</p> <p>分賦金の算出方法は、前々年度の搬入割100%よる。(例：H30年度分賦金は、H28搬入量)</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>許可業者の監督指導。分賦金納入執行</p> <p>【主な活動】</p> <p>会議への出席</p> <p>分賦金の納入執行</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
許可業者の監督指導・賦課金納入執行	会議の出席	回	4.00	4.00	4.00	4.00	0.00
	分賦金	千円	106,116.00	106,110.00	106,110.00	106,110.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
筑北環境衛生組合し尿処理施設・市民	桜川市人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
処理できた桜川市のし尿の量	し尿搬入量	t	15,600.00	15,600.00	15,600.00	15,600.00	0.00
	桜川市搬入率	%	55.00	55.00	55.00	55.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(計画)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	106,116	109,294	109,294
	事業費計(A)	千円	106,116	109,294	109,294
人員	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人

02年度事業費実績(千円)

03年度事業費予算(千円)

事業費の内訳	02年度事業費実績(千円)	03年度事業費予算(千円)
18 負担金補助及び交付金	109,294	
合計	109,294	
合計		109,294

事務事業名	筑北環境衛生組合参画事業(し尿処理場)	事務事業No.	50702000216	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
し尿を効率良く適正に処理するため、昭和40年筑北環境衛生組合が設立された。公共下水道や合併浄化槽の普及により、し尿搬入は減少し、浄化槽汚泥は増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民生活上、必要な事業である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である し尿処理は、市民生活上必要であり、且つ効率的な広域運営をしているものであり、分賦金支出は必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 筑北環境衛生組合し尿処理施設運営事業に参画しているため。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民生活に重大な影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 構成市で、協議決定されたものであり適正である。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の分賦金は、利用量割等の算出根拠が定められており、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	下水道の整備等によりし尿処理業者の搬入量が減少している。し尿処理業者の経営圧迫につながるため、他の地区からの新規参入は認められない。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
<input checked="" type="checkbox"/> A	A：継続(現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続(改革改善を行う) D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>	